

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行所 東田乗治
連絡先 045-210-1111(内線3850)
神奈川県青少年課
印刷 朝日オフセット印刷株式会社

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供

つばさ

神奈川県青少年指導員だより

神奈川県青少年喫煙飲酒防止条例が 施行されました。

県の啓発事業「JUNON」

前号では、平成19年7月1日から施行される神奈川県青少年喫煙飲酒防止条例の内容についてお知らせしましたが、今号では、この条例の目的と内容について、より多くの皆様にご紹介させていただきます。ご理解・ご協力をいただくため、これまでにを行った普及・啓発事業の概要をご紹介します。

この条例は保護者、県民、事業者、県が一体となって青少年の喫煙・飲酒を防止する社会環境を整備することを目的としており、7月1日からの施行にあたり、関係する皆様による一体的な取組がより推進されるよう、「県下一斉ワイドキャンペーン」を展開しました。

関係各者の一体的な取組に向けた啓発活動

この条例では青少年の喫煙・飲酒に関し、県、保護者、事業者及び県民の責務を定めており、これら関係各者が一体となって青少年の喫煙・飲酒の防止に向けた取組を推進していくことが求められています。

そこで、県では関係各者それぞれの取組がより促進されるよう、次の普及・啓

発事業を実施しました。

① 販売店、飲食店向け

たばこ・お酒に関係する業界の皆様のご協力をいただき、条例の内容などに関するチラシやはがきを送付しました。また、青少年と思われる方への証明書等による年齢確認義務について、お店で購入者等への周知を図っていただくため、スイングPOP【写真】やステッカーなどを作成し、県内の主なコンビニエンスストアや酒販店等に配布しました。

② 保護者の皆様向け

県内の公立小学校のご協力をいただき、小学校6年生から高校3年生までの保護者の皆様に啓発チラシを配付しました。

③ 県民の皆様向け

条例の施行をより多くの方々に知っていただくため、統一的なデザインを使用したポスターやチラシを広く

配布したほか、県内の主要駅にポスターを掲示し、条



お店でもアピール（スイングPOP）

例の周知を図るとともに、県民の皆様への協力を呼びかけました。

なお、ポスターは6月から公共機関やスーパーなどに、また7月中旬には県内の主要駅に掲示をしました。このデザインに出演していたのは若者に人気のマッスルミュージカルの出演者の方々と、この条例の趣旨に賛同いただき、無償で協力してくださりました。【写真】

また、県では条例をわかりやすく解説するための、DVDを作成しています。今年の11月頃に市区町村の青少年関係を担当する課などに順次配布する予定です。地域での研修会等でも活用ください。

関係団体との「タイアップイベント」

7月14日（土）に、タイアップイベントのメイン会場であるイトーヨーカドー立売店（横浜市泉区）のほか、県内の協力店舗約1万店で一斉に啓発グッズを配布し、条例への協力を広く呼びかけました。

なお、このイベントは、たばこ・お酒に関係する団



タイアップイベント実施中！

体と神奈川県が協働で、青少年の喫煙・飲酒を防止する社会環境づくりを進めるための活動の一環として実施したもので、関係業界の方々と県が一体となってこの問題に取り組むという姿勢を、広く県民の皆様にお知らせすることができました。

メイン会場では、たばこ・お酒に関係する団体の代表の方々に加え、知事も駆けつけ、県民の皆様は条例の趣旨を説明するとともに、ご協力を呼びかけました。【写真】この模様はTVKでも放映されました。

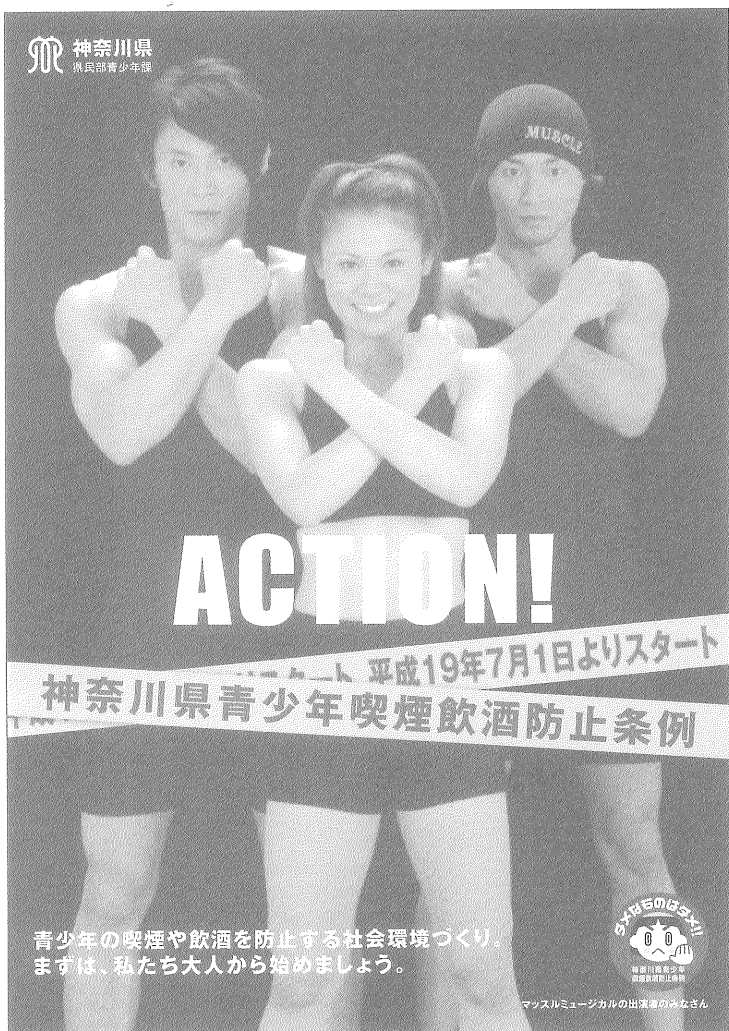


統一ロゴマーク

県ではこの度施行された神奈川県青少年喫煙飲酒防止条例をより実効性のあるものとしていくため、今後とも関係業界と協働しながら様々な場面で普及・啓発活動に取り組んでまいります。

青少年がたばこ・お酒を入手しにくい社会環境の整備に向けて、皆様のお力をお願ひいたします。

【神奈川県青少年課】



神奈川県青少年喫煙飲酒防止条例をよろしくお願ひします

平成19年度青少年の健全育成を進める県民大会

小田原市青少年育成推進員協議会 高橋一夫

平成19年度7月14日(土) 小田原市生涯学習センター けやきホールにおいて「青少年を地域がしっかりと受けとめよう」今大人が取り組むべきこと」の大会テーマのもと、平成19年度青少年の健全育成を進める県民大会が開催されました。

当日は、台風接近により、大雨の天候でしたが、会場には県内から500名を超える方々の参加があり、皆様の青少年健全育成に対する意識の高さを改めて感じました。

に犯罪に対する罪の意識が弱く、グレーなゾーンが増えている。指示化社会で育つ子供の弱まってしまった規範意識をどう高めていくか、という課題を提起されました。また、家庭、地域、社会教育が非常に重要な役割を果たしており、孤立状態に陥っている子供をどう集団から取り込んでいくのかがこれからの社会が考えていくべき課題であるというお話をいただきました。

それに対し、事例発表として、小田原少年院主席専門官佐藤淳氏から少年院での職員の取り組み、小田原市緑地区青少年育成協議会西島摩瑠頭氏から家庭、地域、学校の連携として育成会の設立や具体的な行事の紹介がされました。また、平塚市教育委員会林孝之氏からは平塚市において行われている児童生徒問題行動対応のサポートシステムについて発表がありました。

コメンテーターの中学生、高校生からは、親が子供のことを理解し、同じ目線に立つことで、心から接してコミュニケーションを多くとることが今後の課題であり、面と向かって悪いことは悪いと言える大人が増えて欲しいという意見が出されました。

質疑応答の時間では、会場との活発な意見交換がなされ、深谷先生から青少年の健全育成、大人の取り組みのキーワードは、やはり「連携」であるというまとめになりました。

大会は、最後に平成19年度県民大会アピールを採択して終了しました。

大会の様子をご紹介しますと、まず、オープニングは明徳学園相洋高校和太鼓部の演奏で、日ごろの練習、稽古の成果を存分に発揮した素晴らしい演奏を披露していただきました。

そのあと、県立足柄高校の生徒による司会で開会となり、松沢成文神奈川県知事と小澤良明小田原市長にあいさつをいただきました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、コメンテーターの松蔭大学講師深谷野重先生から、現代の青少年犯罪は凶悪な犯罪よりもむしろ軽犯罪の増加が特徴であり、青少年全体



↑パネルディスカッションの様相



明徳学園相洋高等学校和太鼓部の皆さん

社会環境健全化推進街頭キャンペーンを開催しました

毎年7月は、青少年の非行問題に取り組む全国強調月間であり、県内各地でさまざまな取組が実施されています。この度、多くの青少年指導員の皆様のご協力を得て、県内各地域で「青少年の社会環境の健全化を推進するための街頭キャンペーン」が実施されました。

今回はそのうち「かながわ社会環境健全化推進会議」の主催により、多くの関係者の方々のご協力を得て実施した、横浜会場及び川崎会場のキャンペーンの様子をお伝えします。

●横浜会場

7月18日(水)の16時から17時までのおよそ1時間にわたり、横浜駅東口地下街の新都市プラザで開催しました。会場は横浜そごうの前ということもあり、非常に多くの方が集まる場所です。この日のキャンペーンには、青少年指導員の方々をはじめ、少年補導員の皆様など約60名にお集まりいただき、今年の7月に施行された神奈川県青少年喫煙飲酒防止条例への協力を呼びかけるリーフレットやテキスト、また出合い系サイトについての注意を促すパンフレットなどを配布して、青少年の非行防止などを

呼びかけました。また、地元横浜市の学校、聖光学園中学校・高等学校の吹奏楽部約50名の方々の演奏もあり、大いに賑わいました。



雨模様の中、一生懸命呼びかけました



聖光学園中学校・高等学校吹奏楽部の皆さん

最近の社会環境健全化推進街頭キャンペーン実施状況

- 横浜地域
 - 7月18日16時～横浜駅東口新都市プラザ
 - 川崎地域
 - 7月10日16時～川崎駅東口自由通路出口周辺
 - 横須賀・三浦地域
 - 7月18日16時～鎌倉駅・大船駅前
 - 県央地域
 - 7月28日15時～大和駅前
 - 湘南地域
 - 7月2日16時～藤沢駅周辺
 - 7月6日16時～伊勢原駅周辺
 - 7月9日16時～二宮駅周辺
 - 7月19日17時～平塚駅周辺
 - 足柄上地域
 - 7月3日16時20分～大雄山駅前
 - 西湘地域
 - 7月9日16時～箱根湯本駅周辺
 - 7月14日16時30分～小田原駅

これらは7月に内閣府の主唱する「青少年の非行問題に取り組み全国強調月間」に併せて実施されたキャンペーンの実績になります。

次回は11月の「全国青少年健全育成強調月間」に併せて県内各地で行われる予定となっておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

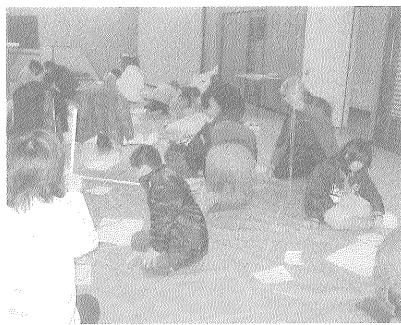
【神奈川県青少年課】

親子で作ろう 手作りたこ

湯河原町青少年指導員会

鈴木 隆義

湯河原町では子どもたちが地域の青少年指導員や保護者とともに「たこづくり」を通して手作りの楽しさとふれあいを図ることを目的として「たこづくり教室」を1月の下旬に町内の地域会館など6箇所を会場に開催しています。



どうすれば高く飛ぶだろう？

「絵の部門」ではお気に入りのマンガのキャラクターや富士山、初日の出など個性豊かな絵が並びました。

「高さの部門」ではたこの上がった高さで審査が行われます。たこを高く上げるためにはたこの左右の重量のバランス、糊をつけすぎているか、うまく気流に乗せられるかなど様々な要素が影響します。子どもたちはたこが高く上がるよう考え、バランスを調整したり、糸の張り具合を変えたりします。

自分の手で確かめながら作ったたこが上がったときは格別で、子どもたちに大きな自信と夢を与えます。最後は青少年指導員が作ったおしるこをみんなで食べて解散します。来年はもっと高く飛ばすぞと毎々参加してくられる子もおり、青少年指導員にとっても励みになります。今後とも子どもたちの夢が大空高く舞うようにと願い活動を続けていきたいと思えます。

凧の材料は竹ヒゴと障子紙そしてタコ糸です。竹ヒゴと障子紙は青少年指導員が事前に適当な寸法に切り出しておきます。子どもたちは青少年指導員や保護者の方に手伝ってもらいながら1時間半程度でたこを完成させていきます。完成したたこにみんなそれぞれ思い思いの絵を描き、1月の下旬に行われる「新春たこあげ大会」で実際に上げてみる事ができます。たこあげ大会は「絵の部門」と「高さの部門」とで審査されます。



すてきなたこができました

活動ガンパってます！

地域活動報告「西湘地域」・「県央地域」から

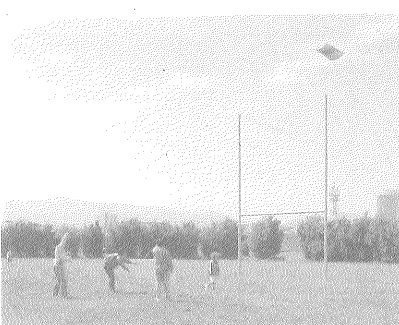
海老名市青少年指導員 連絡協議会活動報告

海老名市青少年指導員連絡協議会

藤井 勝英

海老名市青少年指導員連絡協議会の活動内容と組織を簡単に紹介します。

活動内容は、本部活動と地区活動に分けられます。本部活動には、親子たこあげ大会、野外活動研修会、親子ナイトウォークラリー大会、広報紙「おあしす」の発行、相模凧作り講習などがあり、おあしす推進部会、文化レクレーション部会、広報部会などの専門部会により運営されています。また、地区活動は、市内に6校ある中学校をベースとした、地域のそれぞれの特徴を生かした学区別活動の事です。



親子たこあげ大会 ～天まであがれ！～

次に本部活動の中でも大きなイベントである親子たこあげ大会と親子ナイトウォークラリー大会について述べます。親子たこあげ大会は、相模凧の部とビニール

ル凧の部に分かれます。ビニール凧は当日、青少年指導員の指導のもと2本のひごと参加者が思い思いの絵を描いたビニールで作ります。ビニールに絵を描くのは、子どもが主役。凧を作る段階では、お父さん、お母さんが主役。そして揚げる段階では、親子が主役。素晴らしい役割分担です。

親子ナイトウォークラリー大会で行うナイトウォークラリーとは、夜の市内約10kmをコマ地図という簡単な地図を見ながら、その地域の歴史的名所、旧跡に関する問題を解きながら予め設定された所要時間に最も近いタイムでゴールした人が勝ちとなるゲームです。ナイトウォークラリーの下準備で一番大変なことは、コマ地図を作る作業です。

親子ナイトウォークラリー大会の目的は、日ごろ忙しいお父さん、お母さんと子どもさんが一緒に歩きながら問題を解き、語り合いながら楽しいひと時を過ごしてもらおうということです。



親子ナイトウォークラリーに、いざ出発！

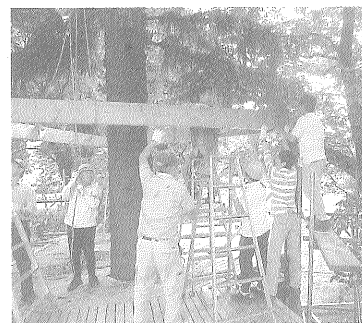
中央林間 ツリーガーデン

大和市青少年指導員

西村 進

*シンボル施設を作ろう！
欧州生れのプレイパーク（PP）は、今や日本全国で二百ヶ所以上あります。緑野青空子ども広場は、十年ほど前に市が設置したPPですが、年に数回の行事のとき以外は、子どもの姿はほとんど見られませんでした。

大和市では、子どもが群れ遊ぶPPを目指し、中心的施設としてツリーガーデン（大きな自然樹を中心にしたウッドデッキ）制作を、平成十八年に地元委託することに決定。一月に自治会、青指、母クなどに召集が掛かり、受託が打診されましたが、全く寝耳に水。PPすら知らないメンバーで、「よいことなので、とにかく前向きに取り組みみましょう」ということになりました。



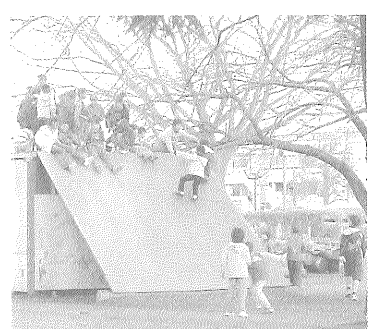
ツリーガーデン制作中。

当初は「出来ない！」を連発だった子どもが、今では平気で遊びや作業に参加し、眺める大人達もニコニコ・ガッテン。

係諸団体が委員会を組織し、既存PPの見学、あり方の検討、構想などを重ね、7月から製作開始。真夏の土日を使った作業が始まりました。

当初は安易に考えていたメンバーも、市からの「安全第一」に配慮し、設計は一級建築士、基礎は鉄筋コンクリート、階段や手すりも必要・・・となるに従い目の色が変わります。知り合いのセミプロにも呼びかけ、ついには重機まで地元調達し、全て専門業者無しで十一月に完成。

参加メンバーは「大変だが楽しかった。でも、二度とは出来ないかな」と、地域住民の底力と物作りの楽しさを実感しました。



子どもたちも大喜び

*子ども達も遊び作り！
今は、市との共同事業で管理運営を行っており、広場全体の追加施設作成に取り組んでいます。当初は「出来ない！」を連発だった子どもが、今では平気で遊びや作業に参加し、眺める大人達もニコニコ・ガッテン。

第40回青少年指導員大会開催!



今年度の大会は、「はぐくもう子どもたちの夢 創ろう地域の和(輪)」をテーマとして、平成19年11月11日(日)13時から、大和市にある「大和市生涯学習センターホール」にて行います。

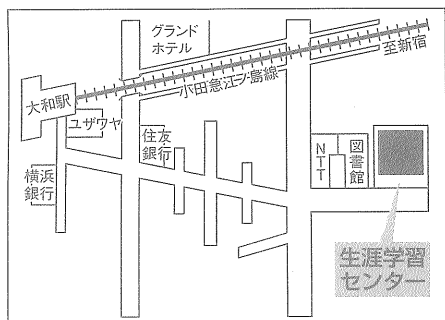
大会に彩りを添えるオーピングセレモニーは、神奈川大和阿波おどり。「約30年前一商店会の売り出しイベントとしてスタートした大和阿波おどりは、…中略：阿波おどりを媒体として人と人、地域と地域のコミュニティを語り地域振興、町興しの一大イベント創りを目指しています」(神奈川県大和町阿波おどり公式ホームページより)とのことで、各地の阿波おどりははじめ、海外でも活躍している団体ですので、華やかなステージが楽しみです。

「北極が呼んでいる!」を動かす夢の力!ということをテーマに講演していただく予定です。単なる冒険談ではなく、現在の青少年の考えなどもお話しいただく予定です。皆様のできる範囲で、皆様の青少年指導員活動に役立つと思います。

活動事例は大和市の「緑野青空子ども広場ツリーガーデン建設事業」と、愛川町の「地域の連携とまとまり」(愛川ふれあいレクリエーションの支援活動)の活動成果の発表の予定です。皆様の日ごろの活動の参考となる内容も多いかと思えますので、ぜひご覧ください。

なお、当日は会場の都合により、お越しの際は公共交通機関をお使いくださいますよう、お願いします。

また、講演の講師は冒険家の萩田泰永氏に決まりました。現在引きこもりやニートをはじめとして、若者に関するさまざまな問題がクローズアップされていますが、肝心の若者は今、何を考えているのか。このような切り口で講師ご自身の半生を語っていただく中で、



青少年指導員連絡協議会と関係する団体について

神奈川県青少年指導員連絡協議会では、地域における青少年指導員の活動を推進するため、各種の団体の活動に参画しています。そこで、協議会が参画して連携をとおしている団体について、ご紹介したいと思います。

○かながわ青少年社会環境健全化推進会議
青少年の健全な育成に望ましい社会環境の整備に向けて民間の青少年関係者・行政が連携・協働し各種事業を展開している団体です。

○社団法人神奈川県青少年協会
広く県民の総意を集結し、行政施策と呼応して、青少年の健全な育成を図ることを目的として活動している法人です。

○神奈川県児童福祉審議会
芸能、出版物、玩具、遊技等の推薦及びそれらの制作者、興行者、販売者等に對する勧告並びに神奈川県青少年保護育成条例の施行に関する事項等を所管している県の附属機関です。神奈川県青少年保護育成条例などに基いて、青少年の健全な育成を阻害するおそれがある図書類の指定について答申するなどの取組みを行っています。

○神奈川県家庭・地域教育活性化会議
家庭・地域の教育力の向上及び放課後の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するための総合的な放課後対策の推進を図るための会議です。

○財団法人神奈川県暴力追放推進センター(青少年教育分科会)
暴力団のない明るい社会を目指して設立された公安

委員会指定の公益法人で、暴力団排除のために広報啓発活動や暴力相談活動などを行っています。

○神奈川県交通安全対策協議会(暴走族対策特別部会)
交通の安全と円滑の確保に、関係機関及び団体相互間の緊密な連絡を保ち、組織的な総合交通安全対策を樹立してこれを推進し、交通事故の防止を図るための協議会です。

○財団法人神奈川県ふれあい教育振興協会評議委員会
学校、家庭及び地域社会における自然や人とのふれあいを通じた青少年の主体的な活動を促進し、ふれあい教育運動の一層の推進を図ることで、青少年の心身

の健全な発達に寄与することを目的とした委員会です。
○社会を明るくする運動神奈川県実施委員会
犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動の、神奈川県における実施委員会です。

かもめ通信

○鎌倉市
鎌倉世界遺産登録推進に向けての中学生作文コンクール
12月8日(土)

○御成小学校多目的ルーム
鎌倉世界遺産登録推進協議会との共催で、鎌倉市内在住・在学の中学生を対象に、鎌倉世界遺産登録推進に向けての作文コンクールを実施します。

○優秀作品の表彰式と発表会を開催します。

○逗子市
第7回青少年フォーラム
10月6日(土)

○逗子文化プラザ市民交流センター 会議室
第12回中高生イベント大会
逗子市役所 会議室

○海老名市
野外活動研修会
9月2日(日)・3日(月)

○富士ふれあいの森
相模原市立青少年会館
11月下旬

○海老名市
海老名市立青少年会館
1月中旬・下旬

○藤沢市
JUMP UP 20 WINTER CONCE
12月15日(土)

○藤沢市労働会館
愛護パトロール
12月

○ジュニアリーダーズクラブ
自主研修会
12月(予定)

○ジュニアリーダーとして自
主性、協調性を深め、リーダーとしての意識の向上を図る研修会です。

○青少年指導員研修会
2月中旬(予定)

○青少年指導員の見識を高め、資質の向上を図る研修会です。

わ」の実現に寄与することを目的とした会議です。
○神奈川県エイズ対策推進協議会
県内におけるエイズの感染拡大防止並びに感染者・患者に対する偏見及び差別のない社会をつくるため、県内の各機関、団体等が相互に連絡調整を図り、また、参加団体構成員に対するエイズの正しい知識の教育・普及・啓発を呼びかけることにより、県民ぐるみの広がりをもちたエイズ対策の推進を図る組織として設置されました。

○神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進協議会
県民・地域団体・事業者・行政機関等の協働により、

○はつはるまつり
2月23日(土)・24日(日)

○海老名市立青少年会館
座間市
第22回ふるさとまつり
11月4日(日)

○かみが沢公園 県立座間谷戸山公園広場等
第31回座間市青少年健全育成大会
11月24日(土)

○ハートホール座間
第28回座間市青少年芸術祭
展示部門「青少年美術展」
平成20年2月23日(土)・24日(日)

○綾瀬市
親子手づくり風教室
平成20年1月中旬・2月中旬
3月中(各月1回開催)

○募集人数 各回20組(親子ペア)
制作する風はエイ風で大きさは約30cmの正方形。材料は和紙、竹ひご、糸を使用します。制作時間は約1時間30分。青少年指導員の指導の下、親子と一緒に風を制作します。制作後は風揚げ体験を実施します。

○相模原市
親子ふれあいの広場
11月11日(日) (予定)

○相模原市立野洲辺公園にて、子どもを対象に、創作コーナーを設けます。

○さがみはらスポーツフェスティバル
10月8日(月・祝) (予定)

○相模原市立野洲辺公園にて、各種スポーツイベントの中で、レクゲームを実施します。

○安全・安心まちづくりを
目指した県民運動を展開すること、県民が安全で安心して暮らすことができ、誰もが安心して訪れることのできる神奈川県の実現を図るための協議会です。

編集後記

つばさ編集委員 松尾 俊一

第20期の第3号となるつばさ37号をお届けします。

7月1日から施行された神奈川県青少年喫煙酒防止条例ですが、統一ロゴマークにもあるように「ダメなもの」はダメ!」毅然たる態度で皆様とともに青少年の喫煙・飲酒を防止する明るい社会環境づくりに取り組んでいきたいと思います。

今号も「読む」機関紙から「見る」機関紙へのスローガンのもとに、各地域での青少年指導員の幅広い活動状況や県民大会の様子がお伝えできたでしょうか。



「つばさ」第20期編集委員

- 平野 稔 横浜地域
- 児玉 一郎 川崎地域
- 松尾 俊一 横須賀三浦地域
- 谷田 康司 県央地域
- 高橋 一夫 担当理事